

市役所 あそびこねや 2011

香南市の取り組みや事業を紹介するコーナーです

5. 10(火) マイバッグ持参でCO₂削減に貢献

平成23年度高知県地球温暖化防止県民会議(以下県民会議)の総会で、香南市役所が部会長表彰を受賞しました。

これは、昨年10月から2カ月間行われた、県民会議主催の「男も(女も)持つぞ!マイバッグ」キャンペーンに参加し、レジ袋を断った回数によるCO₂削減量が、最も多い団体として表彰されたものです。



■参加人数382人、CO₂削減量408.68Kg
断ったレジ袋6,592枚

6. 2(木) 漂流している人を救助し感謝状授与

高知海上保安部で、人命救助をした平嶺政行さん(吉川町)に感謝状が贈呈されました。平嶺さんは、5月2日(月)8時半ごろ吉川漁港沖合約3kmを操業中、溺れている男性を発見。すぐに救助へ向かい、左手で船を押さえながら、右手で必死に男性を引き上げました。半“電”半漁の生活を営みながら、代々受け継ぐ「政漁丸」で今日も海の安全を見守っています。



消防本部 ☎55-4141

6. 6(月) 広がる広域災害ネットワーク

市町村広域災害ネットワークに、新たに宮崎県日向市が加わり、14団体となりました。宮崎県沖の日向灘では、今後30年以内に70%~80%の確率でM7.1程度の地震が発生すると予測されています。また、文部科学省の調査では、4連動地震(東海地震、東南海地震、南海地震、日向灘地震)が発生するとM9.0クラスの巨大地震になる可能性があることが発表されており、西日本一帯が同時多発的に被災する恐れが危惧されています。

■新規加入団体 宮崎県日向市

7. 1(金) 緑のカーテンにチャレンジしませんか

緑のカーテンは温暖化防止だけでなく、目隠し、防音、空気の浄化、目にやさしく癒やしの効果もあります。さらに植物が水分を蒸散させることにより、気温が下がります。

市役所本庁では、アサガオで緑のカーテンを実施中です。育ててみたい!欲しいなという方は環境対策課まで! 環境対策課 ☎57-8508



「うつ病について」の講演会を開催しました 高齢者介護課 ☎57-8510

6月9日(木)のいちふれあいセンターで、明日葉会(香南市の認知症高齢者を考える会)主催の講演会が開催されました。今回のテーマは「うつ病について」。講師の高知大学医学部神経科精神科・医局長の上村直人医師より、うつ病についての理解や、治療方法、周囲の対応の仕方など詳しく話していただきました。また、時代の変化とともにうつ病の状態も変化し、現代うつ、介護うつなどさまざまなうつ病があるという説明もあり、参加者約50人は熱心に耳を傾けていました。

香南市の認知症高齢者を考える会 明日葉(あしたば)会

明日葉会では、認知症の方を介護されている家族や認知症について関心のある人が集まり、毎月情報交換や研修会を実施しています。

認知症やうつ病で悩まれている家族の皆さん、是非この機会に参加してみませんか。

今後の講演会日程(抜粋)は下記のとおりです。

9.22 13:30~15:00 赤岡保健センター(日本間)
「認知症の予防と早期発見」
高知大学医学部神経科精神科・医局長 上村直人医師

10.7 14:00~15:30 のいちふれあいセンター(2階研修室)
「薬の副作用について」
いずみの病院脳神経外科・医学研究事務局長 楠木司医師

申し込みは社会福祉協議会(☎57-7300)または、
高齢者介護課地域包括支援センター(☎57-8511)まで。

子育て入門編-ハラハラドキドキ

パパママ教室

6月17日(金)赤岡保健センターでパパママ教室を行いました。当日は、パパ、ママ、子どもさんら総勢23人が参加。

助産師の講話では、妊娠各期の体の変化や妊婦体操、お産の呼吸法などの話があり「ヒッヒッ・フー、ヒッヒッ・フー」と練習しながら、ママたちは真剣な表情でお腹をさすっていました。昼食を取りながら「男の子?女の子?」という会話になると、ママパパの表情はふわっと柔らかくなり、その様子にこちらも幸せを頂いた気分でした。

パパたちには妊婦疑似体験をしてもらい「重いい…」「下見えんし、動きづらい」「本当の赤ちゃんやったら、こらあ大変!」と、ママの大変さを楽しみ実感した様子。

沐浴(もよく)実習では、赤ちゃん人形を使って「1人で入れるの大変かも。緊張する」と不安な言葉の半面、赤ちゃんを見るママパパの眼差しや指先の動きに、優しい気持ちをととも感じました。

ママは大変だな～しゃがめません。パパも子育て頑張ります。

妊婦さんを疑似体験中!



PapaMama Classroom

高齢者叙勲 旭日単光章 地方自治功勞

昭和57年に夜須町議会議員に当選以来、平成11年4月までの4期12年10カ月の間、各常任委員会委員長、副議長、監査委員また、香南斎場組合の議員を歴任し、円滑な議会運営に尽くし、地方自治の育成発展、町活性化の基礎づくりなど、地域の発展に寄与されました。なお、今回の高齢者叙勲は、合併後香南市となって初の受賞です。

子どものころから蒸気機関車と電気技術に興味があったという嶋田さん。18歳のころには、蒸気機関車の機関士にあこがれ高知鉄道に入社。その当時、経験が浅い若者には難しかった機関士の資格を猛勉強の末に取得し、夢をかなえました。また、電気技術の勉強のため海軍へ志願。横須賀の海軍工機学校で技術者として必要な知識と技能を習得しました。

そして、戦場へ。連合艦隊の一員として、レイテ沖海戦など幾多の戦場を命からがら乗り越え、日本へ帰ることができました。当時、海防艦内で聞いた玉音放送は半信半疑だったそうですが、敵国の戦闘機から攻撃がなくなり「これで助かった」と安堵したようです。

戦後、高知鉄道に復職し教官として活躍され、退職後12年の長きにわたり夜須町議会議員として、地域に貢献されました。地域の方々から後押しがあつて議員になる決意をしたものの、最初の3年間は、自分の知識を高めるため、行政に関することを夜遅くまで勉強するのが日課でした。現在も行政や市議会には関心があり「今の市議の皆さんには、行政知識はもちろん専門的な知識を習得し、よりよい市政を目指してほしい」と話されました。

今回の受賞では、常に自分を支えてくれた、亡き奥さんの仏前に手を合わせ報告したという嶋田さん。きっと誰よりも一番喜んでいただろう。

現在は、家族と暮らした我が家を離れ、介護施設で暮らす毎日に。「年に一度、子や孫、ひ孫が家に集まるにぎやかだった日々が懐かしい。そのような日が来ることを楽しみにしている」と家族との団らんに思いを寄せていました。



嶋田 和乎さん
88歳 夜須町

高齢者叙勲

5月1日付で、高齢者叙勲受章者が発表され、香南市では嶋田和平さん(夜須町)が旭日単光章を受章されました。